

シンポジウム 「真の復興とは」

私たちは今までに幾多の災害を経験し、またそのたびに「復興」を成し遂げてきました。しかしその復興とはどのようなものだったのでしょうか？
災害の復旧・復興の過程で健康や生命が損なわれてはなりません。しかし実際には災害後に時間を追って被害が増え続けることが起きています。
また、復興や防災という名の下で声を上げられなかったり、大切なものが失われるということはないのでしょうか？形のあるものは再建できても、心に負った傷や記憶は簡単に元の通りにはなりません。今一度「復興とは何か？」を問い直します。

日 時：2022年3月9日（水）16：00～18：00
会 場：オンライン（ZOOM）
参加費：無料

プログラム

司会 郡山貞子（災害総合支援機構）
挨拶・趣旨説明（5分）

第一部 報告（15分×3）（45分）

- 報告1 「復興災害を防ぐ」
塩崎賢明（神戸大学名誉教授）
- 報告2 「こころとからだの復興」
佐藤隆雄（技術士（国立研究開発法人）防災科学技術研究所客員研究員）
- 報告3 「復興」で見落とされていること
西川直子（建築ジャーナル、谷中路地研究会）

第二部 ディスカッション「真の復興とは」（60分）

パネリスト 塩崎賢明
パネリスト 佐藤隆雄
パネリスト 西川直子
進行 庫川尚益（災害総合支援機構）

質疑応答（15分）

■主 催：一般社団法人災害総合支援機構

■申込み：E-mail：miyajima@rmo.or.jp FAX：03-3829-0147

下記ホームページからも申し込みできます。

<http://rmo.or.jp/>

■建築 CPD2 単位申請中（必要な方はお申し出ください）

シンポジウム「真の復興とは」

講師プロフィール

塩崎賢明（しおざき よしみつ）

1947年生まれ。神戸大学名誉教授。都市計画・住宅政策。京都大学大学院工学研究科修了。

日本住宅会議理事長、兵庫県震災復興研究センター共同代表理事。

著書に『大震災 100 の教訓』『災害復興ガイド日本と世界の経験に学ぶ』『大震災 15 年と復興の備え』（いずれも共著、クリエイツかもがわ）、『住宅政策の再生』『住宅復興とコミュニティ』（いずれも日本経済評論社）、『東日本大震災からの復興まちづくり』（共著、大月書店）、『住まいを再生する―東北復興の政策・制度論』（共著、岩波書店）など多数。

佐藤隆雄（さとう たかお）

1948年生まれ。（国立研究開発法人）防災科学技術研究所 客員研究員

災害復興まちづくり支援機構事務局次長、・関西学院大学災興制度研究所研究員

総務省・地域活性化センター「地域づくりアドバイザー」

技術士(建設部門：都市及び地方計画)

国内外の災害の調査はじめ、住民と行政のパートナーシップによる安全・安心なまちづくりを追求している。3.11 大震災においても、岩手県大船渡市の復興計画策定委員・碓石地区復興まちづくり協議会の支援を行っている。2010年 安全・安心な社会創造研究所を創設。著作多数。

西川直子（にしかわ なおこ）

1958年名古屋市生まれ

1981年南山大学文学部哲学科卒業、企業組合建築ジャーナル入社、名古屋本社勤務、月刊『建築ジャーナル』、地域文化雑誌『C&D』の編集に携わる

1989年～1997年 建築ジャーナル東京事務所勤務

1997年～2002年 建築ジャーナル福岡事務所勤務

1998年7月 自邸「北白川の家」(京都市左京区)を建設、竣工

2002年～2005年 建築ジャーナル大阪事務所勤務

2005年～ 建築ジャーナル東京事務所勤務、月刊「建築ジャーナル」に加え、建築関連の書籍の編集に携わる

2011年5月 自邸「谷中の家」(東京都台東区)を建設、竣工

谷中の家にて市民グループによる企画「月1原発映画祭・交流カフェ」、まちまち net 主催「市民力向上講座」などを実施。「谷中路地研究会」を継続している。現在、『建築ジャーナル』編集長、企業組合建築ジャーナル監事